

助けあいの
共済
ひろげよう



医労連共済

2020年春の拡大月間(3月~5月)開催中 医労連共済の推進会議・学習会はどのように行っていますか?

医労連共済は31期に入ってから、労働組合の助けあいの制度として、多くの加入者に給付を行い、加入推進でも組合員加入を前年比2,000人以上増やしてきました。加入推進の取り組みでは共済未加入の組合員への働きかけとともに、組織拡大と重ね合わせた取り組みも進められています。

今回は、京都医労連で行われた組織拡大・共済推進会議から共済を中心に報告します。

〈会議迄〉事前アンケート実施。

- ・共済実務担当者：実務で困っていること、悩んだことについて等について

〈会議当日〉

- ・前半：共済・制度見直しについて1時間学習 質疑応答30分
- ・美味しいケーキと飲み物を準備し、カフェブレイク。
- ・後半：組織拡大・共済加入状況について：書記長から報告

〈京都医労連「労働組合の日常活動の手引き」(以下、参照)を全員で確認

～単組・支部の共済スキル～

- 1) 議案書に共済推進の方針がある
- 2) 共済のパンフやチラシはそろっている
- 3) 共済推進の担当者は決まっている
- 4) 毎回の執行委員会の議題になっている
- 5) 委員長・書記長は加入している
- 6) 役員の30%以上は加入している
- 7) 共済推進全国集会には参加している
- 8) 共済説明会を定期的で開催している
- 9) 新歓での共済加入の呼びかけをしている
- 10) 加入呼びかけの対象は明確になっている
- 11) キャンペーンを活用して加入者が増えた
- 12) 組織共済に加入している
- 13) 毎年共済推進で表彰されている

【該当数】

0：もったいないです。医労連のよさを生かして
ません。頑張れ。
1～5：組合員は共済を待っています。推進計画を
具体化しましょう。
6～9：いい感じですね。職場でもっと共済を目
立たせて下さい。
10～11：頑張ってますね。連続拡大や表彰な
どにチャレンジして下さい。
12～：凄いです。引き続き、共済推進のけん引
役として期待します。

〈会議後半〉：KJ法を用いて30分グループディスカッションし、最後に報告

〈方法〉

付箋など小さなカード上の紙に思いついたことを書く。全員でグループ化していくことでまとめる。

≪報告≫

- ① 組合員を増やすには：宣伝、労働組合を知ってもらう、組合員の自覚を高める、職場での語り合い、職場の人と仲良くする、同じ職場の組合員からの声かけ、ターゲットを挙げる、組合活動の見える化、相談会、気軽に参加できるイベント、組合ニュースの発行。
→話す、知らせる、見える化、ニュースやSNSの活用
- ② 次期役員など担い手をつくるには：横のつながり、一人の役員がやりすぎない、みんなで分担、担い手を巻き込んだ活動、役員同士の連携、若い人の思いを受け止める、学習会、地道な組合活動、活動は楽しく、やりがいを伝える。
→役割は分担する。つながり、学習。
- ③ 医労連共済を増やすには：メリットを知らせる、他の保険との違い、魅力の発信、事例を伝える、経験者が語る、まずは自分が入る、担当者、説明会開催、宣伝。
→お得な制度をわかりやすく知らせる。



(KJ法を用い意見を出し合う)



(グループごとに報告)



≪この間の推進会議・説明会・学習会の内容の一例≫

- ・執行委員会で、セット・年金共済の説明会・組織一律共済の加入討議
- ・共済担当者での説明会
- ・昼休み（30分）説明会
- ・同日2回実施（昼休み・夕方）
- ・おいしいケーキやお弁当を準備
- ・ユニオンセミナー
- ・県医労連主催医療研究集会
- ・支部総会（ランチ「豚汁」付）
- ・労安学習会とセットで
- ・説明会&加入用紙を实际書いてみよう≪実践編≫
- ・制度見直し説明会&フットサル

各単組、様々な工夫を凝らして行われています。

～共済に関する写真やニュースなどお寄せください～